



校長室だより 笑顔



◆さくら児童会スローガン：助け合い いつも元気に あかいつ子◆

さくらだいこくん

「ファミリー読書」楽しみませんか

先週から本校では、読書活動推進の一環として「ファミリー読書」推奨期間に取り組んでいます。

読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものと言われています。「デジタルメディア・コントロール」で生み出した時間の活用としても有効です。また、全国学力・学習状況調査の結果からも、読書に親しんでいる児童生徒の学力が高い傾向にあることが明らかになっています。

「ファミリー読書」では、一緒に同じ本を読む、一緒にそれぞれが読みたい本を読む、読み聞かせをするなど、読書のスタイルや本のジャンルは問いません。1週間に1日も構いません。ぜひ、ご家庭で本に親しむひとときを楽しんでみてください。



子どもたちには今朝の朝会で、読書について以下のように話しました。

(略) では、読書にはどんな効果があるでしょうか。校長先生が一番の効果だと思っていることは、「出会い」です。今まで知らなかったことや経験したことがないこと、行ったことがない場所、生きたことがない時代などに、読書を通して出会うことができます。読書を通して、わくわくしたり、ハラハラしたり、ポロリと涙がこぼれたり、いろいろな気持ちになることもできます。本に書いてある言葉から、頭の中でどんどん想像することもできます。読書で新しい気付きがたくさんあることで、皆さんの毎日が豊かになり、よりよく生きることにつながるのです。

ここで、校長先生がよく自分の家や教室で読み聞かせをしていた本から、1冊紹介しますね。「わすれられないおくりもの」です。読んだことがある人もいるかもしれませんね。これは、アナグマと森のみんなのお話です。こう始まりますよ。(読み聞かせ 略)

アナグマはそのあと、死んでしまいます。悲しんでいる仲間たちですが、アナグマの思い出を語り合って、少しずつ楽しい思い出を話せるようになっていきます。モグラはアナグマに上手なはさみの使い方を教えてもらったこと、カエルはやさしくスケートを教えてもらったこと、キツネはネクタイの結び方を教えてもらったこと、ウサギのおくさんはパンの焼き方を教えてもらったこと…。みんなだれにもアナグマとの思い出がありました。アナグマは一人一人に知恵や工夫を残してくれたのです。

これを読んだとき、クラスの子どもたちがこんな感想を言ってくれました。「ぼくは今まで、贈り物はきれいな紙で包まれていたり、買ってきたりするものだとおもっていたけれど、友達のために優しくしてあげることが本当の贈り物だと分かった。」「物はなくなってしまうけど、その人のためになる知恵や工夫はなくなる。わたしも友だちや家族にそんな贈り物ができるようにしたい。」…子どもたちはそれぞれが素敵なことに気付くことができました。

今、学校では家族で読書をする「ファミリー読書」に取り組んでいます。先週は、おうちの人と一緒に読んだ人、弟や妹に読んで聞かせてあげた人、読み聞かせをしてもらった人など、それぞれに読書を楽しんでいたようです。全校の皆さんも、ぜひ、家族に声をかけ、家族が難しければ自分一人でも読書をして、本と友達になりましょう。きっと新しい出会いがありますよ。

※11月16日、17日には図書委員が「図書まつり」を企画しています。子どもたちの頑張りもうれしいですね！



ライバルは昨日の自分！持久走記録会

10月26日に持久走記録会を実施しました。講堂の工事の関係で第二校庭が使用できないため、昨年度とはコースを変更し、校庭と校舎前のアスファルト部分を使っての記録会でした。子どもたちは、運動朝会や体育の時間に加え、休み時間や朝の時間にも自主的に練習を重ねてきました。当日は保護者の皆様、ご家族の皆様の応援を受け、「ライバルは昨日の自分、少しでも記録を縮めるぞ！」と、1年生から6年生まで一生懸命に走り切りました。アテネオリンピックの金メダリスト、野口みずきさんが「走った距離は裏切らない」と言っていたのですが、その言葉通り、ほとんどが自己ベストのタイムを記録しました。

体力づくりは一過性ものではありません。運動に加え、「早ね・早起き・朝ごはん」や「デジタルメディア・コントロール」等でのよい生活習慣をつくることも大切です。この記録会を自信にして、普段からも進んで体を動かす赤井っ子であってほしいと思います。

下の写真：1年生

右の写真：6年生

6年間でたくましく成長しますね！



応援ありがとうございます！

活躍 おめでとう！ 学校外での活躍を報告に来てくれました。

6年：鹿野秀斗さん、勝又陽大さん ミニバスケットボール交歓大会東地区予選 優勝（石巻向洋ミニバス）
5年：鹿野絆来さん 石巻市陸上競技選手権大会 5年女子100m走 第1位、4×100mリレー第2位
4年：志摩星奈さん 宮城県スポ少交流陸上競技選手権大会 4×100mリレー第5位

教員授業研修より：タブレットを活用して話し合いの「見える化」

「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ児童の育成」のために、取り組んでいる校内研究。先日は、6年生の授業を題材に、子どもたちの「対話的な学び」を引き出す課題について意見を交わしました。Googleのアプリを活用し、タブレット上で付箋紙に書いた意見をやり取りしました。違うグループの意見を簡単に見ることができたり、集まらなくても意見が交わせたりするなどの利点や課題が見えてきました。子どもたちがタブレットを「文房具」の一つとして使えるよう、教員も実際に活用しながら効果的な指導の在り方を探っています。

